

## 行田市立図書館の おすすめ本

小学1・2年生向けブックリスト

令和2年6月発行

子どもたちにおすすめする児童書を  
図書館職員が選びました。  
ここに載っている本は、  
すべて図書館にあります。  
何を読んだらいいのか迷ったときは  
ぜひ参考にしてください。



科学絵本

たんぽぽ  
平山和子 ぶん・え  
北村四郎 監修  
福音館書店 1992年

身近な植物、タンポポの生態のふしぎさ、そのたくましさなどを、長年にわたる観察と写生をもとに見事に描きます。実物大に描かれた80センチをこえるタンポポの根は圧巻です。

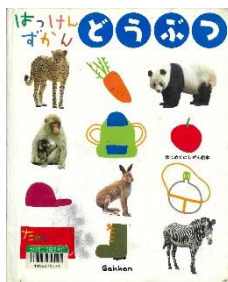
あみ

中川ひろたか 作  
岡本よしろう 絵  
アリス館 2019年

なにかを逃しながら、別のなにかをつかまえるのが「あみ」。あみ戸、虫とりあみ、バドミントンのラケット。身の回りには「あみ」なものがたくさんあって…。生活の「なぜ?」にこたえる、楽しい絵本。



絵本



図鑑

はっけんずかん どうぶつ  
今泉忠明 監修  
山口まさよし 絵  
学研 1999年

草原のぞう、きりん、ライオンたち、森のさるやくま、ジャングルや海にいる動物たちはどんなふうに暮らしているのだろう。ページ上のたくさんのとびらをひらいて、どうぶつたちの世界をのぞいてみましょう。

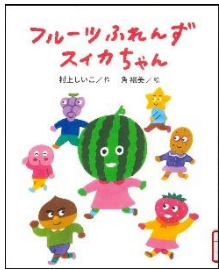
行田市立図書館

(行田市教育文化センター「みらい」・図書館棟)

〒361-0032 行田市佐間3-24-7

TEL 048-556-4227

FAX 048-555-3770



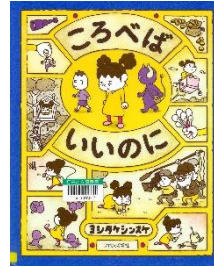
読み物

フルーツふれんず  
スイカちゃん  
村上しいこ 作  
角裕美 絵  
あかね書房 2019年

子どもだって考えるよ！顔の小さなイチゴちゃんがうらやましいスイカちゃん。ある夜、お母さんが使っていた道具と似ているものを持ち出して…。フルーツの小学生が元気にがんばる物語。

ころべばいいのに  
ヨシタケシンスケ 作  
ブロンズ新社 2019年

わたしには、嫌いな人がいる。イヤなことを言ったり、したりするから。誰かを憎んでいる時間をもったいないのに、イヤな気持ちで自分じゃどうしようもない。そんなときは…。ヨシタケシンスケの発想えほん第4弾。



絵本



昔話絵本

ないたあかおに  
浜田廣介 作  
野村たかあき 絵  
講談社 2013年

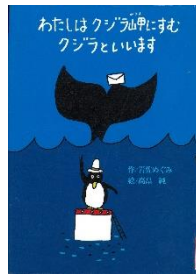
人間と友だちになりたい、心のやさしいあかおに。でも、なかなかうまくいきません。すると、仲間のおおにがやってきて、あかおにに、ある提案をしますが…。心やさしいおにたちの友情を描いた不朽の名作。

まほうのおまめ  
だいずのたび  
松本春野 文・絵  
辰巳芳子 監修  
文藝春秋 2020年



科学絵本

豆腐、味噌、醤油…日本人の食卓を支える大豆。しかし、自給率はわずか7%。その100粒を播いて育てる子どもを増やしたい。幼い子どもにも「まほうのおまめ」、大豆のことを知ってほしい。親子で楽しく学ぶ食育絵本。

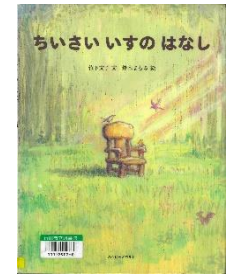


読み物

わたしはクジラ岬にすむ  
クジラといます  
岩佐めぐみ 作  
高島純 絵  
偕成社 2003年

引退したクジラ先生は、見知らぬ誰かからの返事を期待して手紙をたくさん書きました。返事はきました。オットツ島の子どもクジラのくーぼーから。そして…。2001年刊「ぼくはアフリカにすむキリンといます」の姉妹編。

ちいさいすのはなし  
竹下文子 文  
鈴木まもる 絵  
ハッピーオウル社 2006年



絵本

小さいイスは男の子と仲良かったです。おやつを食べるときも一緒、絵本を見るときも一緒。楽しいときは一緒に笑い、叱られたときは慰めてあげて。やがて男の子は大きくなり、イスは物置につれていかれ…。

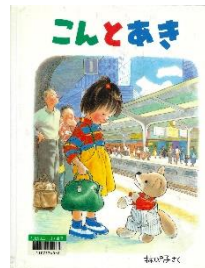
とりあえずごめんなさい  
五味太郎 作  
絵本館 2019年



絵本

植木屋さんが床屋さんしててごめんなさい。鬼ヶ島が実は高級リゾートでごめんなさい…。あれれ、なんだか変！とりあえず「ごめんなさい」と言ってしまう愉快なシチュエーションが盛りだくさんのユーモア絵本。

こんとあき  
林明子 さく  
福音館書店 1989年



絵本

おばあちゃんに頼まれてあきのお守りにやってきたぬいぐるみのこん。あきが大きくなるとこんの腕にもほころびが…。おばあちゃんに直してもらおうと出かけますが次々とハプニングが起こります。無事にたどり着けるかな。



絵本

すてきな三にんぐみ  
トミー=アンゲラー さく  
いまえよしとも やく  
偕成社 1991年

黒マントに黒ぼうしの三人組のどろぼうは、宝あつめに夢中でした。ところが、宝の代わりにさらってきた子どもに宝の使い道を聞かれ、考えてしまいました。そして、とてもステキなことを思いついたのです。